

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	必修
担当教員			
横田 昌彦			
A (会計学科)	S (専門科目)	SM (演習)	401 (専門ゼミ・卒業論文等)
授業のねらい (概要)	会計学研究の実践的な方法や最新の知識や手法、自ら学び続ける態度や課題解決力と自発的、創造的な学修態度を育てることを目的とする。学生自ら興味や関心のある経営の諸活動に関する研究課題を設定するとともに、各自の研究課題に則した研究計画の策定から、各自の研究計画に基づく資料収集や分析、報告、意見交換などを繰り返しながら、自己の考えを展開する能力を高めるとともに、研究成果に関する成果発表に向けた指導を行う。		
授業計画	<p>研究内容の決定 何を論述するか、興味のある内容を決定する。 予習 (時間) : タイトルの項目について考えておく (各120分) 復習 (時間) : タイトルの項目についてまとめ、実践する (各120分)</p> <p>研究計画の策定 研究内容の決定に基づき、研究計画を策定する。 予習 (時間) : タイトルの項目について考えておく (各120分) 復習 (時間) : タイトルの項目についてまとめ、実践する (各120分)</p> <p>研究報告 研究内容について発表を行う。 予習 (時間) : タイトルの項目について準備する (各120分) 復習 (時間) : タイトルの項目についてまとめ、実践する (各120分)</p>		
授業を通して身に付けることができる能力 (DP)	<p>DP (商学部) の2項目を意識した科目となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力 <p>DP (会計学科) の1項目を意識した科目となっている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力 <p>【身に付くスキル】 生涯学習力・論理的思考力</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 自らの興味や関心のある経営の諸活動に関する研究課題を設定することができる。 ② 研究課題に則した研究計画を策定することができる。 ③ 研究計画に基づく資料収集や分析、報告、意見交換などをしながら、自己の考えを展開することができる。 		
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。		
履修上の注意	<p>次の事項について十分に注意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 講義の他、朝7時から予習復習を行う (2) web視聴を前提とした反転講義を行う (3) 欠席の場合には事前に教員に連絡する (4) 欠席 (公欠含む) 6回で履修放棄とみなす (5) 公認会計士論文式試験と同等の知識を要する (6) 卒業延期をしてまでも必ず公認会計士になりたいという意思を要する (7) 会計のプロを志す者として、周りに迷惑をかけないふるまい、身だしなみを要する 		
成績評価の方法・基準	授業内外の「課題」 (100%)		
教科書	経理研究所において利用している「財務諸表論」のテキストを利用する。		
参考書・教材			
備考	講義科目／実務家教員による授業		
教員との連絡方法	高崎商科大学経理研究所のwebシステムを通じたメール (アドレスは授業内で周知)		